

パブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメント実施概要

実施期間: 令和5年1月27日(金)から令和5年2月27日(月)まで

周知方法: 産業振興課窓口・各区役所市政情報コーナー、静岡市ホームページ(報道機関に情報提供)
静岡商工会議所製造業部会、金融機関5先、市内事業協同組合6者、個別事業者へのメール周知220者、企業訪問時周知360者等

提出方法: 持参、郵送、FAX、電子申請のいずれか

2. 結果概要

提出いただいた意見書件数 186件(62人)

3. 属性

居住 : 市内49件(葵区5件、駿河区20件、清水区24件)、県内12件、県外1件

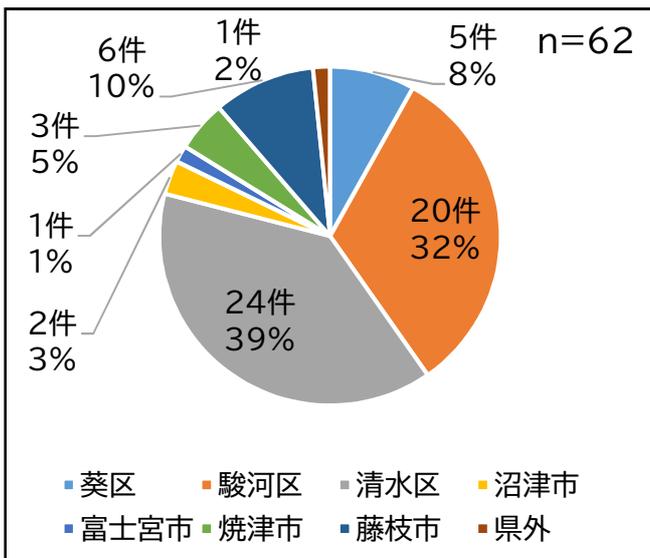
年齢 : 19歳以下7件、20代6件、30代12件、40代4件、50代12件、60代11件、70歳以上10件

提出方法: オンライン56件、紙提出6件

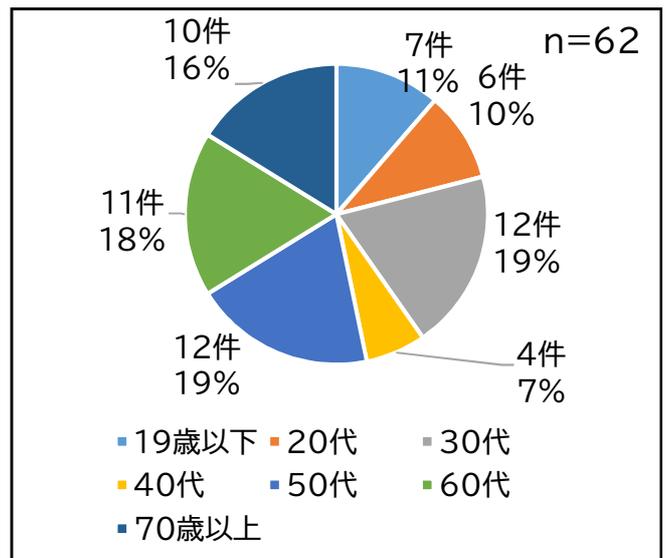
職業① : 会社員・公務員29件、自営業3件、専業主婦(夫)3件、学生5件、パート・アルバイト7件
その他15件

職業② : ものづくり産業に従事している12件、ものづくり産業に従事していない50件

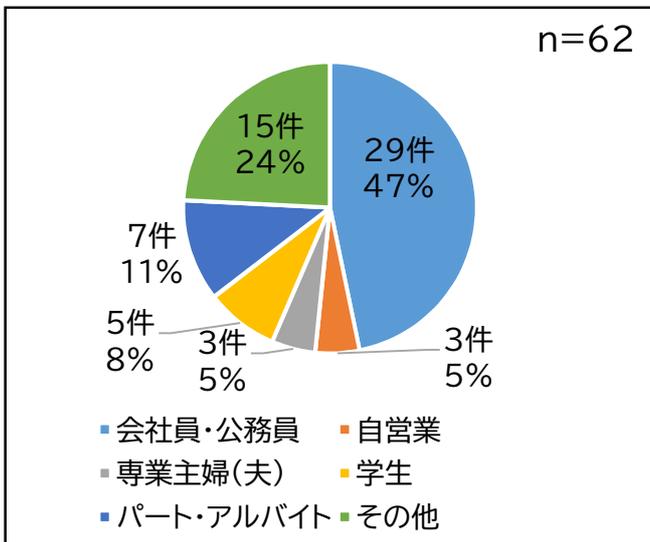
(1)居住



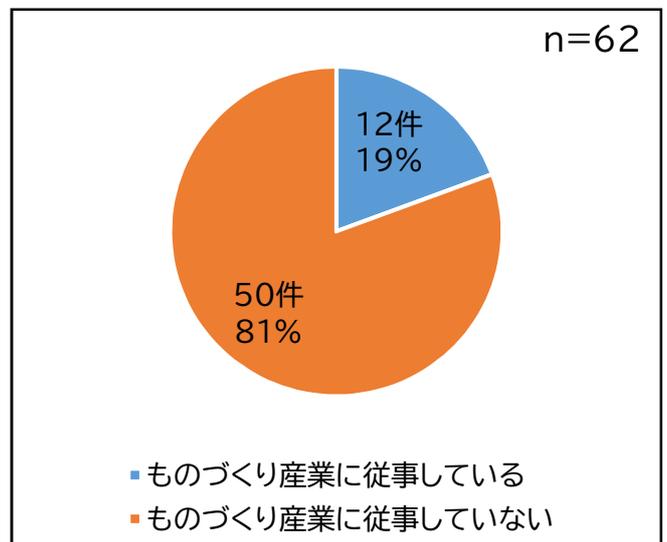
(2)年齢



(3)職業①



(4)職業②

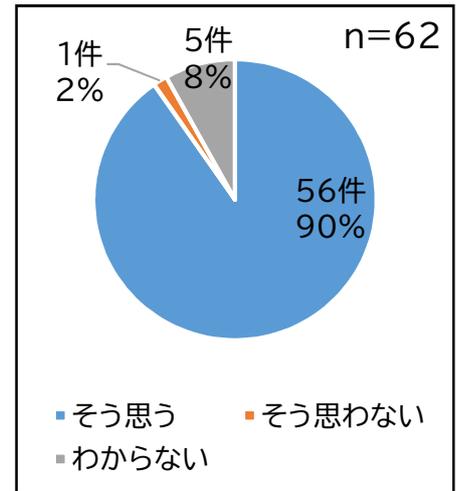
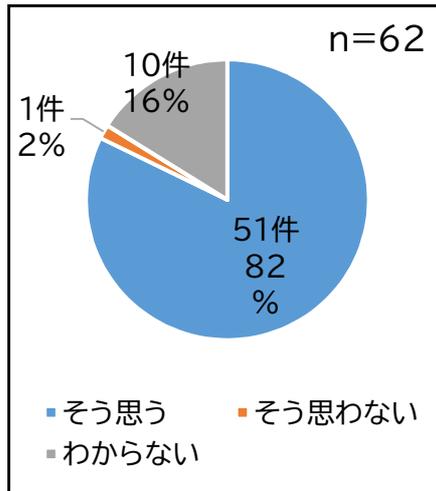
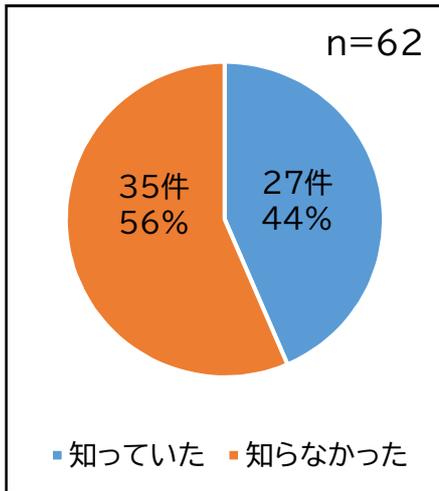


4. 設問1. ものづくり産業への関心について

製造品出荷額等が静岡県内1位であることを知っていましたか
(経済センサス活動調査 2020年実績)

左記の事実に加え、ものづくり産業がもたらす市民生活への影響に際し、あなたは、地域の産業に誇りを感じますか。

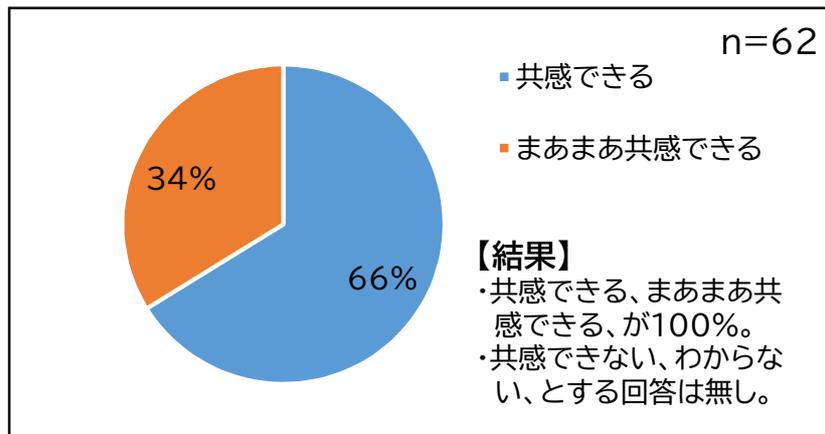
あなたは、地元のものづくり事業者によって、製造・加工された製品等を購入・活用したいと思いますか。



【結果】

- ・本市の製造品出荷額等が静岡県内1位であることは、56%が知らなかったと回答している。
- ・この事実を知ったうえで、地域のものづくり産業に対して、82%が誇りに感じている。
- ・また、地元で製造・加工された製品等を購入したいと考える割合も90%にのぼり、本市のものづくり産業は関心が持たれていることが考察される結果となった。

5. 設問2. 第4次計画(案)への共感について



【結果】

- ・共感できる、まあまあ共感できる、が100%。
- ・共感できない、わからない、とする回答は無し。

【主な意見】

(全般について)

- ・ニュースに取り上げられるような話題だけでなく、対象となる中小企業の声を聴き取り、それがよく反映されている計画であると感じた。

(「経営力づくり」について)

- ・脱炭素やデジタルの活用はこれからの時代に必要になってくると思うが、こうした点が盛り込まれているから。

(「生産力づくり」について)

- ・今ある経営資源(在職者等人材)の労働生産性や知識・技術を高めていくことで、生産量を高めていかなければ経済活動の鈍化は免れないと感じており共感できる。

(「販売・営業力づくり」について)

- ・作ったものも売れなければ意味がないと思うので、販路開拓の観点は重要だと思う。

(「人づくり」について)

- ・ものづくり産業に対する直接的な支援、といった事項のみならず、ものづくり人材の強化として、次代を担う若年者等に対する関心・素養を高める取組はとても重要な事項だと感じた。

6. 設問3. 計画に対する意見・期待について

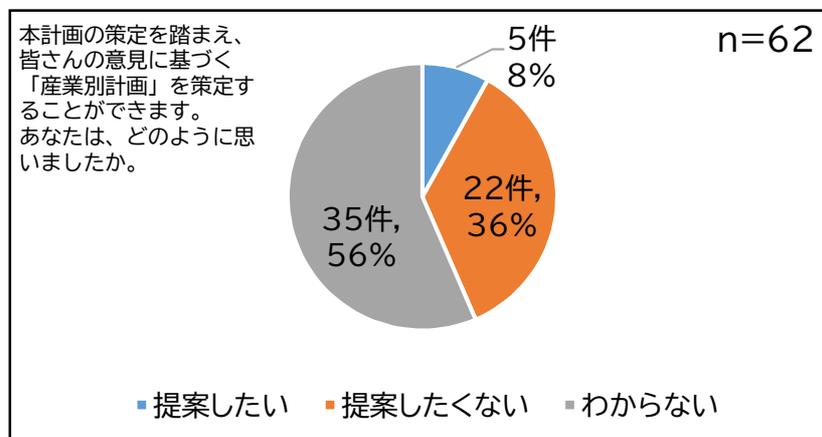
【主な意見】

- ・環境への配慮と地域経済の好循環の両立を目指していただき、他市町に先駆けた先行事例となっていくことを期待している。
- ・地域の製造業の売上が増え、賃金も増えれば、普段使うお金も増えて、という好循環で経済全体の活性化を期待したい。
- ・地場産業の若者技術者への金銭面など具体的な補助や援助・奨励などが欲しい所です。
- ・最近、製造業は人材確保に苦慮していると感じます。オフィス系の業種に人が流れていく中、若者世代にも「ここで働きたい」と思ってもらえるような変革が必要だと思います。
- ・メイドイン静岡の製品が、全国ないし世界で広まり、静岡を理由に多くの方が購入してくれるようになると嬉しい。
- ・特に、ものづくり人材の強化については、きちんと予算措置を行うとともに、中長期的な視点で継続実施していただきたい。
- ・絵に描いた餅とならないよう①計画的な予算措置、②中長期的な視点で継続実施、この2点は特に力を注いでいただくことを前提に、計画案に賛成します。
- ・こうした計画があることを知らない市民が多いと思うので、より知ってもらえれば良いと思う。

【まとめ】

- ・計画の内容に期待する意見がほとんどであった。
- ・近年のトレンドである環境への配慮やデジタル活用に対する取組や、付加価値を高めるための取組に対しては期待する意見を多くいただいた一方、人材不足を課題と考える意見が多くみられたことから、次年度以降の事業実施の参考および事業立案に活用していく。

7. 設問4. 産業別計画の策定について



主な選択理由について

【提案したい】

- ・社会が変化することに合わせて必要と感じれば考えたい。

【提案したくない】

- ・この基本計画で十分です。今後起こる課題等を踏まえて、基本計画を柔軟に改善していけばよいと思います。
- ・業界に対して提案できるほどの知識や見識がない。

【わからない】

- ・現在、市役所に対して、市内の産業界から個別具体的に支援を求めている状況にあるのか否か、不明なため。

【まとめ】

提案したい、とする意見は5件あったものの、すべて直ちに提案を行うものではなく、社会経済情勢の変化に応じて必要があれば行いたいとの主旨であったため、今後、ものづくり事業者や産業関係団体へのヒアリングの中で、産業別計画の策定についての検討を行っていく。

8. 意見の反映状況について

計画への反映状況	件数
ご意見の内容が既に計画案に含まれているもの	38件
ご意見の内容を計画案に反映させるもの	0件
今後の取組の参考にするもの	148件
計	186件

主な意見と反映状況

意見の概要

意見の反映状況

次の若い世代によりよい社会を引き継いでいくための方向性を示してほしい。

社会経済情勢および市内ものづくり事業者の課題を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うとともに、次代を担う産業の育成に取り組んでまいります。

本編P38

地域の製造業の売上が増え、賃金も増えれば、普段使うお金も増えて、という経済全体の活性化を期待したい。

「実質市内総生産額」及び「実質市内現金給与総額」といった新たに「質」を意識した目標を設定し、市民の皆様へ還元がなされるよう取り組んでまいります。

本編P37

中小企業に対し、補助金を使い設備投資出来るよう配慮してほしい。企業の移転先等も、積極的に誘致してほしい。

設備投資については事業計画「02付加価値を高める生産力づくり」に搭載の「中小企業事業高度化機械設備設置事業補助金」により、また企業誘致については、「01持続的な発展に向けた経営力づくり」に搭載の「企業立地促進事業」および東京事務所との連携等により、推進してまいります。

本編P45, 46

伝統工芸品などの地場産業を市が支援して盛り上げてもらいたい。

事業計画「03顧客から求められる販売・営業力づくり」に搭載の「産業フェアしずおか開催事業助成」、「05地域産業を学び支える人づくり」に登載の「駿府匠宿運営事業」等により、地場産業へ触れ合う機会の創出及び魅力発信に取り組んでまいります。

本編P47, 49

ものづくり産業を支えるためには、人材の強化は必須。さらに、学ぶだけでなく、学んだ内容を活かせる事業があることも大切だと思いました。

「05地域産業を学び支える人づくり」に搭載の「プラモデル化計画推進事業(ものづくりキャリア教育)」「こどもクリエイティブタウンでの職場体験等」等により、若年層がものづくりを学ぶ機会創出に取り組んでまいります。

本編P49

静岡市に立地する大企業、大手企業との関係も踏まえた内容がもっとあるといい。

サプライチェーンに属するものづくり事業者の支援を通じて、大手企業の留置、誘致につながるよう取り組んでまいります。